

第5期 第8回自治基本条例推進委員会 検討部会 会議録（概要）

名称	第5期 第8回自治基本条例推進委員会 検討部会 会議録
開催日時	令和3年1月29日（金） 午後5時00分～午後6時30分
開催場所	阪南市役所 3階 全員協議会室
出席者	【検討部会委員】 壬生部会長、福岡委員、田中委員、猪俣委員 今井委員 5人出席 【市】 地域まちづくり支援課 川口課長代理、岩下主査、枇榔主事
傍聴人数	0人
議題	協働の指針の策定に関する基本的な事項 答申（案）について
資料	○資料1 答申（案）
要旨	協働の指針の策定に関する基本的な事項 答申（案）について検討
会議	<p>あいさつ</p> <p>部会長 本日は、答申（案）について前回の検討部会で頂いた指摘事項を修正したものを見て頂き、部会として答申（案）を決定し、推進委員会に諮っていきたいと考えている。最終確認となるが、当然、見直した方が良いという意見もあれば、修正等を行うため、様々な意見をいただければ。</p> <p>【推進委員からのご意見を踏まえた再検討】</p> <p>事務局 資料1に基づき、協働の指針の策定に関する基本的な事項 答申（案）について、説明。 （協働の指針の策定に関する基本的な事項 答申（案）について委員からの意見、質疑・応答）</p> <p>部会長 既に資料の確認をさせていただいていると思うが、今の説明について何か意見等あれば。</p> <p>委員 1ページ2項目の最後のところで、「協働の推進の条文を追記する改正」とあるが、この条文を何に追記しているのか分かりにくい。</p> <p>事務局 元々の自治基本条例には、「協働の推進」という条文はなく、第3期阪南市自治基本条例推進委員会において、条例の検証を行っていただき、協働の推進を追記すべきとの答申を経て、自治基本条例を改正したという旨を記載している。ご指摘のように何を改正したのか分かりにくいいため、文言を追記するようにする。</p> <p>委員 2ページ2項目の「令和6（2024）」とあるが、今は2025年問題と言われているため、この表記も2025年に揃えた方が、世間の問題と比較しやすいのでは。また、7ページと8ページの例示が斜体になっていて見にくいかもしれない。</p> <p>事務局 この部分は、例示であるため、本文とは違う事象を表しており、斜体にして枠で囲んでいる。</p> <p>部会長 斜体ではなく、字体を変更するのはどうか。斜体よりも見やすくなるかもしれない。</p> <p>委員 7ページ一番上のリード文の部分で、「次の6つに取り組むことが必要です。」とあるが、6つに限定してよいのかと思った。</p> <p>部会長 ご指摘のとおり、7ページ上段については、6つと記載することで、他を排除しているように見えるため、少し修正が必要と思う。</p> <p>委員 目次の部分で、章と項目のフォント等を入れ替えた方が見やすいと思う。また、段落もずらした方が良い。</p> <p>部会長 先ほど意見のあった、2024年を2025年に変更できるかという部分については、どうか。</p> <p>事務局 この数値は他部署で算出しており、2025年の数値を算出しておればすぐに修正可能。一度、確認を行うこととする。</p> <p>部会長 7ページ1つ目の項目の例示部分で、「市職員出前講座～」とあるが市職員と出前講座の間に「が」が必要。「講和した」とあるが、これはこの表記で良いか。 また、8ページ一番上の例示部分で、「くらし丸ごと相談室の設置し～」とあるが、「くらし丸ごと相談室を設置し～」と思う。 次に、例示の内容で上の2つは活動の相談について、下はくらし丸ごとなので、市民活動に限定していない。そうすると誰の相談なのかを記載した方が分かりやすいと思う。この例示は、市民活動の相談ではなく、くらしの困りごとを丸ごと相談する。ここでいう課題解決に向け気軽に相談できる場所に入るという意味で良いか。 あと、13ページ以降は、最終的にこのような形式となったが、読んでみてこちらが伝えたいことが伝わるような表現となっているか。どんな事例がありどんな主体が協働しているのか、12ページで示した手法が、こんな形で用いられているというイメージを持ってもらいたいという意図がある。用いられる手法については、12ページに記載の手法の内、様々なものを含んでいる事例を挙げている。</p>

委員	13ページ事例の内容の部分で、一番下の事業項目で文章が読みにくいように思う。このメニュー自体も活動メニューなのか、カフェメニューなのか分かりにくい。カフェメニューの事を指しているのであれば、「お菓子の提供など」と表記を変更するのはどうか。すっきりして読みやすくなると思う。 また、事例のタイトルのカッコは団体の名称だと思うが、2つ目の事例だけ具体的な名称になっている。合わせるのであれば、実行委員会×行政が良いのでは。 もう一つ、この答申（案）となっているが、これ自体が協働の指針になるのか。どのような位置づけになるのか。
事務局	この答申を受け、市が協働の指針を策定するという流れとなるため、この答申自体が協働の指針というわけではない。
委員	答申を行った後、市で協働の指針を策定する際に、文言など変えようと思うと変えられるものなのか。
事務局	基本的には、市は委員会へ諮問を行い、その答申を受けている立場にあるため、あまり考えられないが、変更することは可能。
委員	変更となった場合に、その変更したものは委員会に戻ってきて、再度議論することはあるか。
事務局	答申の受けた後に、市で指針を策定していく形となるが、策定の段階で変更が発生した際には、現在の委員の皆様は任期は終わっていると思われる。 しかし、2年に渡り議論を行っていただいている経緯も踏まえ、変更となった時には各委員へ報告させていただく。
部会長	先ほど意見のあった、7ページの「次の6つに」はどのように修正を行うのが良いか。何か意見あれば。
事務局	この部分について、「担い手が、以下のような取り組みを行うことが必要です。」と修正してはどうか。
委員	6つと限定するより、事務局の提示のあった文言の修正で良い。
委員	2ページ市の現状で高齢化率が記載されているが、32.2%は約3.2人に1人という割合だと思われ、約3人に1人と修正してはどうか。
事務局	指摘のとおり修正することにする。
委員	2ページ市の現状の4項目目「期待されています」と表現があり、「期待しています」とどちらの表現が良いのかと思った。
委員	前段に「状況に応じた活動」とあり、その状況に応じ様々なことがあると思われるため、現在進行形のこの表現のままでよいと思う。
部会長	先ほどの事務局説明の中で、事例の市民参画の部分の写真は、推進委員会の写真も掲載することであったが、当日撮影し、答申に反映させるという事か。
事務局	全体のスケジュールについて、次回は部会委員以外の委員も出席となる推進委員会で、この答申（案）について、最後の意見を頂戴し、修正を行う予定。その際に撮影した写真も一緒に掲載を行い、最終の答申としたい。
委員	今まで議論を行ってきたが、答申の巻末に委員の名簿等は盛り込まないのか。
事務局	過去の答申も含め確認を行い、掲載しているのであれば、今回もそのようにする。
委員	14ページ上から2行目の「運営委員会」とあるが、これは実行委員会のことか。そうであれば、タイトルと文言を統一してはどうか。
事務局	ご指摘のとおり修正を行う。
委員	この写真を見るとおそらく今年の成人式ではない。撮影した年を記載していないため、いつの写真か分かりにくいかもしれない。
委員	撮影した年を記載していくと、事例で掲載している写真全てに撮影した年を表記していかなければならないため、それであれば、13ページ上段＜参考＞の横に、写真は2019年以前のものも含まれます。というような文言を追記してはどうか。
部会長	参考の写真については、意見のあったとおり参考の横に文言を追記することで対応を行うこととする。
委員	指針が出来たらどこまで配布するのか。ただ市に保管しているだけでは意味がない。どこまで市民に知らせていくかが重要。

事務局	指針を策定して終わりであれば、ご指摘のとおり意味のない指針になってしまう。この指針については、市内部において、どのように様々な施策に取り入れていくかという事も議論を行わなければならない。また、委員ご指摘の市民への周知についても、しっかり行っていかなければならない。この指針は市民と市が共通の認識で協働を進めるためのルール作りということで、議論が始まっている。自治会総会や写真を提供いただいた団体等にも指針を配布して、周知を図っていききたい。
部会長	重要な指摘をいただいた。この指針は、市民とそして職員にもしっかりと理解をしてもらいたいものとなっている。 その他ご意見あれば、特に無いようであれば、本日多くの指摘を頂き、修正すべき部分もあり、この後のスケジュールはどのようになるか。
事務局	修正した答申（案）を、部会員と部会員以外の委員にあらかじめ、送付させていただく。その中で、ご意見等あれば、同封している意見書に意見を記入いただき、事務局へ提出していただきたい。その意見を再度、部会長と相談をさせて頂き、修正できる部分は修正を行っていく。次回の推進委員会ではその見て頂いた答申（案）をお諮りし、最終確認を行っていただいた後、答申を行うという流れを考えている。
部会長	今後、修正されたものが再度委員の皆様のもとに届くという事で、そこでもしっかり見て頂ければと思う。 本日、そのほかに何かご意見や確認しておきたいことがあれば。
事務局	本日多くのご意見をいただいたので、最後に一通り確認をさせて頂きたい。 まずは、目次の部分で、章と項目を見やすくするというもの。次に、1ページ2項目目の部分で「条文を追記する改正を行っています」の表記が分かりづらいというもの。次に、2ページ市の現状の2項目目の部分で「約3.5人」の数値の部分と、その下の「令和6年（2024年）」を2025年に置き換える部分。次に7ページリード文の部分で「6つ」と限定してよいかという意見があり文言の修正を行うというもの。その下の例示の表記が見にくいため、レイアウトの修正。また、市職員の例示について、文言の修正。次に13ページの一番上参考の横に写真が昨年以前のものも含まれるというような文言と追記。次に事例①の事業協力の部分で「メニューが豊富」を「お菓子の提供など」に修正。次に14ページの一番上「成人式実行委員会」を「実行委員会」に修正し、その下のリード文の「運営委員会」を「実行委員会」に修正。最後に、答申の目次の次ページに「はじめに」を挿入し、また委員名簿については部会長と相談を行う。一通り本日頂戴した意見は以上で間違いないか。
部会長	これで過不足は無かったと思う。 それでは、今日の意見を踏まえ、事務局で修正し、再度見て頂くという事になるため、各委員よろしく願います。
委員	1点追加で、9ページの「みんなができること」の下の項目を少しずらしてもらえないか。出だしが同じだと少し見にくいと感じる。
部会長	ちょっとした工夫をすることで、随分見やすくなる。本文とそれ以外の書き出しの仕方を変えた方が良くかもしれない。全体を通して一度確認をお願いする。 その他、何かご意見等あれば。
	各委員 特になし
	【その他について】
事務局	その他について、次回の自治基本条例推進委員会の日程について説明。 (委員からの意見、質疑・応答)
部会長	ただいま、事務局から説明のありましたことについて、何かご意見があれば。 なし
部会長	それでは本日予定しておりました、案件はすべて終了いたしました。長時間に渡りありがとうございました。